



インスピレーションになろう

Weekly Bulletin

週報 つどい

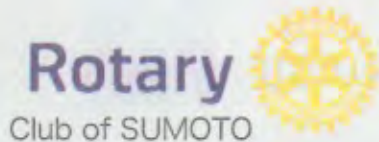
クラブテーマ：「トモニイコウ」

第2680地区
洲本ロータリークラブ

事務所〒656-0025 洲本市本町5丁目4-25 第二大宮ビル203号 TEL(0799)22-8915
E-mail. sumotorc50@cup.ocn.ne.jp FAX.(0799)26-0101

例会：毎週火曜日12：30 三井住友銀行 洲本支店3F 会長：高鍋 直人 幹事：廣島 茂雄 広報小委員長：石村 健

第3144回例会 2018.11.27(火) Vol. 20



移動例会 職場訪問 「淡路じゃのひれアウトドアリゾート」

ホームページは sumoto-rc 検索

第3143回 2018

11/20 Report

出席委員会 (11月20日)	●先取補填者……………	2名
●会員総数……………	●本日の欠席者……………	5名
●出席必要会員数……………	●本日の出席率……………	84.85%
●本日の出席者……………	●先々週の修正出席率……	87.88%

会長の時間

会 長 高 鍋 直 人

本日のお弁当は、NPO法人淡路障害者連絡会「アミアミ」で作られたものです。

淡路地域では、障害者の就労が極めて困難でまた、訓練施設も十分と言えない状況があります。このような中洲本総合庁舎内の食堂経営に平成24年11月1日より指定障害福祉サービス事業による就労継続支援B型事業所として障害者の働く場が出来ました。

平成25年5月には、淡路医療センター内で障害者の手作り作品等を販売することを目的としてハンドメイドショップアミアミもオープン。洲本総合庁舎の建て替え工事によって洲本アルチザンスクエア内に移転し、今は、約20名の方が、就労訓練をされています。

作られたお弁当は、洲本総合庁舎、洲本市役所をはじめ沢山の事業所に配達されています。

中にはアミアミで訓練された方が、一般就労に移行されて頑張っている方がいます。

また知的障害者の親とその家族にとっての「親なき後の不安」は、社会が大きく変化してきたにもかかわらず、今もなお介護を余儀なくされています。

このような中、平成29年7月、塩屋地区でアミアミハウスが、設立し現在9名の障害者の方々が、スタッフの支援を受けて生活されています。

知的障害者は、身体障害者とは違い、障害が見えにくい特徴があります。また本人の思いが伝わりにくい、生活の大変さが理解されにくい等、本人に代わって的確な代弁と日常生活上の細やかな支援がなけれ



ば、当たり前前の生活が、困難となります。障害者の方々が、このような施設において訓練されて一人でも多く社会に出て働けるように何か出来る事を考えていきたいと思いました。





プログラム

「財団の父アーチC.クランプの物語」

2680地区ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員 松嶋 洋子 様



財団の公式標語

“Doing good in the world.” 世界でよいことをしよう。

「財団の父」アーチC.クランプ
Arch C. Klumph (1869-1951)
彼がのちに振り返って、「小さなひらめき」と呼んだ、この素朴なアイデアからロータリー財団は生まれた。



「世界でよいことをしよう」は、ロータリー財団の公式標語です。「財団の父」と呼ばれるアーチC.クランプが後に、「小さなひらめき」と振り返った素朴なアイデアから、財団は生まれました。

クランプは1869年、ペンシルバニア州カヌートビルの貧しい家庭に生まれました。学問は大部分を独学で身に着けました。12歳で仕事に就き、夜学に通いました。18歳で材木会社の使い走りをし、片道6^{マイル}を歩いて通学したこともあります。経営危機にあったその会社を再建し後に購入。銀行や汽船会社などの経営者となった苦労人です。

1911年、42歳でクリーブランドRCのチャーターメンバーとなり、47歳の時、16-17年度国際ロータリークラブ連合会会長に就任します。

クランプ会長は17年、アトランタ大会で世界的な規模での社会奉仕のための基金設立を提案し「アーチ・クランプ基金」が生まれます。これがロータリー財団の始まりです。しかし、第一次世界大戦の最中、ロータリアンの多くは無関心で、むしろ「ロータリー運動に金銭的奉仕を持ち込むな」と反発しました。寄付者がなく、次年度大会のホストクラブが提出した26^万50^千（現在の約6万円）でスタートします。その後も基金への視線は冷淡でしたが、28年、ミネアポリス大会で、5739^万の基金を以って「ロータリー財団」が創設され、クランプが初代管理委員長に就任しました。クランプは、ロータリーはこの先、幾世紀も続く運動なのだから、財団を100年先、200年先のロータリアンのための種まきと考えていました。

ロータリアンの活動を支えるための基金—というのが、クランプの構想でした。おカネだけでたいしたことはできないが、個人の奉仕が組み合わせられれば、価値あるものになる—。こう考えたのです。ここにロータリー財団の存在意義があります。

財団が発展する転機となったのは45年、第二次世界大戦の終結です。ポール・ハリスは、善意の普及を通じて戦争を予防することが悲願だったが、第二次大戦が起こ

り悲惨な形で終わった—と語っています。二度の大戦を経て「世界平和」がロータリーの一大テーマとなりました。世界平和の構築は個々のクラブの取り組みでは規模的、地理的に困難です。そこで、ロータリー財団にロータリアンの国際協力の受け皿をしての役割が期待されるようになったのです。

47年1月、ポール・ハリス逝去。彼の遺言でもあった追悼寄付の受け皿として、財団に「ポール・ハリス記念基金」が設置され、130万^{ドル}（現在の約14億円）が寄せられました。同じ年、若い研究者の国際交流などを通じた紛争予防を目指し、「高等研究奨学金」が実現し、「国際親善奨学金」に発展します。元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏も51-52年度の奨学生として米国に留学しています。

ポール・ハリス基金によって財政基盤を整え、奨学金プログラムの開始によって、財団はロータリーの理想をかなえる事業展開に道筋を付けました。自分の描いた「未来の夢」が実現され始めたのを目の当たりにして、クランプは亡くなりました。51年6月のことです。

その後、財団は、世界理解と平和のための人道的・教育的プログラムを開発し、成長していきます。78年に始まった「3-H (Health, Hunger, Humanity) 補助金」は、85年の「ポリオプラス」に発展しました。

財団は煉瓦や石の記念碑を建てるのではなく、人々の心の中に碑銘を刻む。それは永遠に輝き続ける—というのがクランプのアイデアでした。つまり財団が目指すのは人づくりです。財団プログラムで人が育ち、その人が「奉仕の種」となり、また新たな人が育つのです。

ロータリー財団は、正確に言えば「国際ロータリーのロータリー財団」です。財団の唯一の構成員は国際ロータリー (RI) であり、財団はRIの統治下にあります。財団とは、ロータリアンがRIの使命を達成するための仕組みです。財団とRIは理念上、実際上も一つのロータリーとして機能しています。そして財団の運営や活動内容は、慈善団体の格付け機関や米・大手テレビ局から最高級の評価を受けています。



4.財団の活動

寄付の種類

①年次基金	寄付年度ごとに管理されて、寄付の3年後に財団プログラムの原資となる。
②恒久基金	寄付の元金には手を付けずに、運用益のみが財団プログラムの原資となる。
③使途指定	ポリオプラス、平和フェローシップはじめ、あらかじめ指定された事業にのみ使われる。

4.財団の活動

Moneyを

Valueに

寄付

- 年次基金寄付
- 恒久基金寄付
- 使途指定寄付

財団プログラム

- 補助金
 - 地区補助金
 - グローバル補助金
- ポリオプラス
- 平和フェローシップ

1. 6つの重点分野

- ①平和と紛争予防/紛争解決
- ②疾病予防と治療
- ③水と衛生
- ④母子の健康
- ⑤基本的教育と識字率向上
- ⑥経済と地域社会の発展

2.補助金プログラム

	地区補助金	グローバル補助金
対象事業分野	「財団の使命」に関する	6つの重点分野
事業の形態	①奉仕プロジェクト②奨学金③VIT(職業研修チーム)	
事業規模	比較的小規模(下限なし)	大規模(30,000ドル以上)
目標とする影響	短期的影響	長期的かつ持続可能な影響
成果の測定	不同	必須
補助の数量	地区	ロータリー財団
2016-17年度授与実績	494地区(うち日本34地区)26百万ドル	1,260件(うち日本91件)73百万ドル

1.財団の収支 (2016-17年度)

収入		支出	
寄付	304百万	プログラム補助金	221百万
投資損益	98百万	プログラム運営費	23百万
その他	-3百万	寄付推進・管理運営	25百万
合計	400百万	合計	269百万

- 財団活動の原資は寄付
- 支出の9割以上が財団プログラムに

2.プログラム補助金の内訳 (2016-17年度)

プログラム	金額	備考
①地区補助金	26百万	494地区(平均5.2万ドル)
②グローバル補助金	73百万	1,260件(平均5.4万ドル)
③ポリオプラス	108百万	累計16億ドル(25億人超)
④平和フェローシップ	5百万	41ヶ国・95名(累計1,177名)
⑤その他	10百万	
合計	221百万	

→無駄なく効率的に、ロータリアンの奉仕活動





- ソング 我等の生業
- ゲスト ロータリー財団委員会 資金推進小委員会委員 松嶋 洋子 様 (西宮イブニングRC)

幹事報告

幹事 廣島茂雄

1. ガバナー事務所より
 - ・吉岡博忠会員をガバナーノミニージェグネートとする宣言書を拝受
 - ・地区補助金プロジェクトの案内 加古川平成RC 3月2日加古川プラザホテルにて「県立農業高等学校による地域特産品開発への支援」
2. 淡路グループより
 - ・南淡路RC・三原RC・津名RC・あわじ中央RCより週報を拝受
 - ・津名RCより50周年記念例会出席へのお礼状を拝受
3. 当クラブより
 - ・今後の予定を確認
 - 11月27日 12:30 ~ 移動例会及び職場訪問 じゃのひれ
 - 12月2日 10:00 ~ ロータリー研修デー 加古川
 - 12月3日 18:15 ~ 淡路ロータアクト ガバナー公式訪問 みずほ証券洲本支店
 - 12月3日 20:00 ~ 淡路5RC会長幹事会及び忘年会 洲本ベルデ
4. その他
 - ・脇町RCより週報を拝受

委員会報告

- ・IM実行委員会 (高山IM実行委員長)
 - 11月25日 (日) 淡路グループIM開催
 - 当日は全員の協力をお願いします
- ・IM実行委員会 (木村IM実行副委員長)
 - IMの進行の確認 洲本RCより31名参加
 - AM9:45 三井住友銀行横バス出発
 - AM10:00 全員集合
 - 11月20日PM7:00 フォーラム最終打合わせ(事務所)

ニコニコ会計報告

- ・松嶋様、卓話よろしくお願ひします。 高鍋直人君
- ・西宮イブニングRC松嶋様、ようこそ 洲本RCへ。 廣島茂雄君
- ・松嶋様、ようこそ。 秦紳一郎君
- ・25日のIM、皆様の御協力よろしくお願ひ致します。 高山秀則君
- ・倉本先生、お世話になりました。 石濱義民君
- ・結婚記念日(43回目)にきれいなお花が届きました。ありがとうございます。 長井康洋君
- ・32年目の結婚記念日にお花をいただき。 木村一郎君
- ・誕生祝いをいただき。 鶴飼 徹君
- ・松嶋洋子様より。本日は宜しくお願ひします。 ご挨拶

本日合計	15,000円
今年度累計	310,000円
目標	500,000円
達成率	62.0%

キラキラ会計報告

- ・例会欠席のお詫び。 坂田幸男君

本日合計	1,000円
今年度累計	106,000円
目標	200,000円
達成率	53.0%

次週のプログラム

卓話 長手 康祐 君